

## 文化遺産総合活用推進事業 実施計画

1 都道府県・市区町村名	岩手県花巻市	2 補助事業の種類	地域文化遺産活性化
3 実施計画の名称	花巻市文化遺産を活かした地域活性化事業		
4 実施計画期間	平成 29 年度 ～ 平成 33 年度		
5 実施計画の概要			
<p>花巻市生涯学習計画（平成20年度策定）、花巻市まちづくり総合計画長期ビジョン（平成25年度策定）、及び花巻市文化財保護指針（平成22年度策定）を踏まえ、魅力と活力のある地域の創造を目指すとともに、古くから地域に伝わる文化遺産、並びに歴史、風土、風習を次世代へ継承し活用していくため、事業を実施する。</p> <p>※花巻市生涯学習振興計画、花巻市まちづくり総合計画長期ビジョン及び花巻市文化財保護指針（該当部分抜粋）は別添のとおり。</p>			
6 実施体制			
<p>本実施計画の実施にあたり、事業実施団体への助言、調整等は花巻市が行う。        主な担当は以下のとおりとする。        花巻市大迫総合支所地域振興課：補助事業運営全般に関する連携、調整等        花巻市教育委員会文化財課：補助事業における文化財の取り扱いに関する指導等        補助事業は次の団体が実施する。        ○宿場町おおはさま400年記念事業実行委員会（委員長 山影義一）        構成団体（花巻商工会議所、大迫地域中心市街地顔づくり委員会、大迫あんどん山車保存会ほか）</p>			
7 実施計画における目標と期待される効果		別紙①のとおり	
8 補助事業の概要	(1) 補助金額	～平成28年度交付決定額： 30,993 千円	平成29年度申請額： 293 千円
	(2) 実施事業の概要	別紙②のとおり	
9 その他計画実施により想定される効果（定性的な効果を記載）			
<p>地域の歴史を振り返り、地域の文化遺産に触れることにより、郷土に対する愛着、関心、興味が向上し、歴史のある町並みと文化が継承されるとともに、事業実施によって文化交流を行うことにより、交流人口の増加と同時に地域の魅力をアピールするすることができるほか、観光客の増加と地域の活性化に寄与することができる。</p>			
10 その他事業（自主財源、民間団体、他省庁等からの補助（支援）を予定している事業など）			
事業概要：			
事業概要：			
事業概要：			
11 「歴史文化基本構想」の策定や「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けた計画の見込等			
12 担当部局			
地方公共団体 担当部局課	花巻市教育委員会教育部文化財課（文化財係）		

7 実施計画における目標と期待される効果 別紙

目標区分 1 :	地域の文化資源を核としたコミュニティの再生・活性化					
評価指標区分 1 :	地域に誇りを感じる住民の割合 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 1 :	市民アンケートの「郷土の歴史、文化に愛着を持っている」割合			関連事業:	①	
目標値 1 :	平成 28 年度	66.8 %	⇒	平成 33 年度	69.3 %	
設定根拠 1 :						
進捗状況 1 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
%	%	%	%	%	%	

**様式 1 - 1 別紙②**

**8 (2) 実施事業の概要 別紙**

事業①：	宿場町おおはさま400年記念式典・記念講演会	実施団体：	宿場町おおはさま400年記念事業実行委員会			
事業区分：	普及啓発	事業期間：	平成 29 年度	～	平成 29 年度	
事業概要：	藩政時代大迫は養蚕業で栄え商人の往来が盛んだったため、享保雛や次郎左衛門雛、古今雛などが数多く残され京文化が今なお伝承されている。「希望王国いわて文化大使」であり岩手にも縁の深い京都清水寺の森清範貫主による、大迫と京都の歴史文化を学ぶ講演会を行う。					
評価指標区分：	・その他	(具体的な指標は次のとおり)				
具体的な指標：	宿場町おおはさまと京文化の交流会等の開催数 (自主事業)					
目標値：	平成 29 年度	1 回	⇒	平成 33 年度	1 回	
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
回	回	回	回	回	回	